

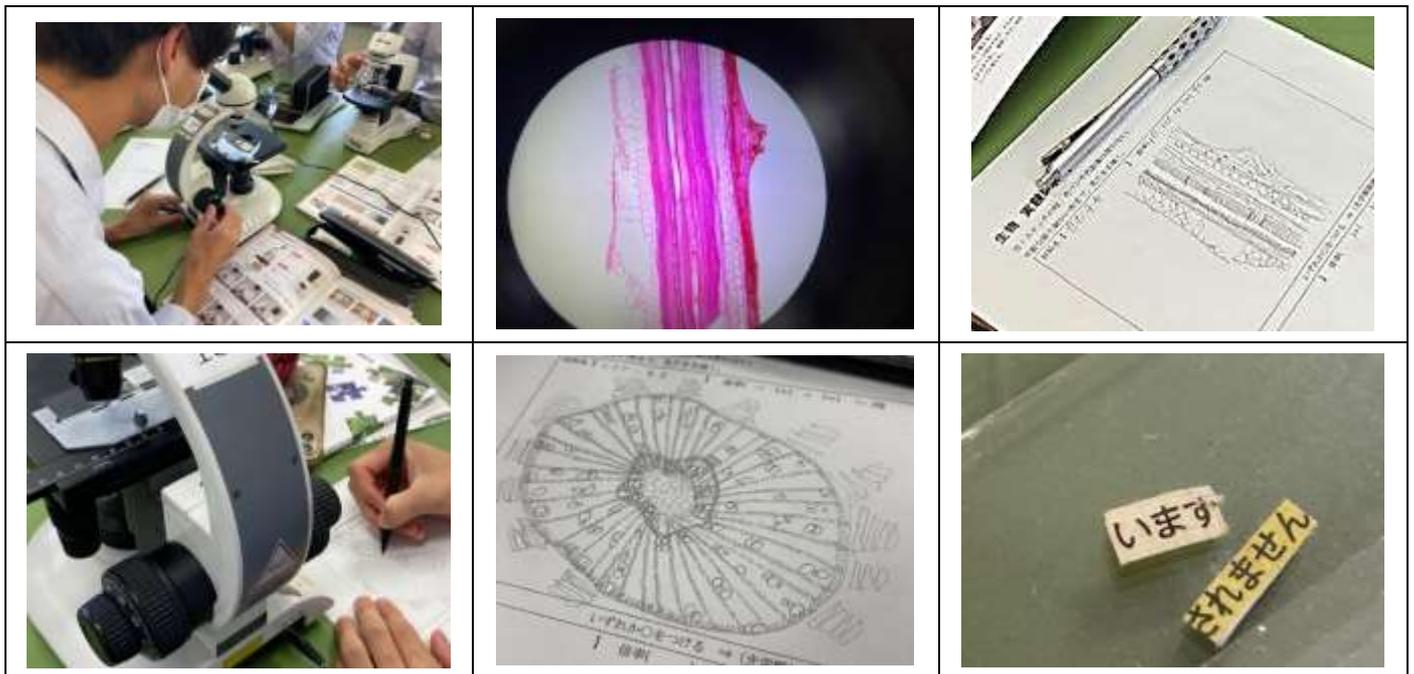
今日の学校（令和4年9月27日）

本日は、2年生の生物基礎と1年生の化学基礎の実験の様子を紹介します。

◆生物基礎（2年生）◆

光学顕微鏡の使い方を学ぶとともに、プレパラートにある試料（植物の組織）のスケッチを行いました。授業に参加した生徒に聞いたところ、顕微鏡を使う実験や観察は、中学生以来とのことで、植物の組織がきれいに見えると、あちこちから声があがり、繊細な様子を丁寧にスケッチしていました。

右下の文字は、新聞を切り抜いたものです。試料を、顕微鏡を通して見るとどう見えるのか理解するためのものです。実は、紙の繊維もよく見えて、とてもきれいでした。



次ページに続きます。

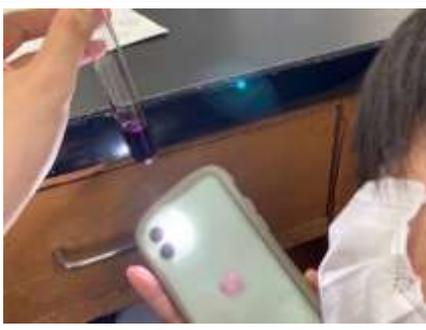
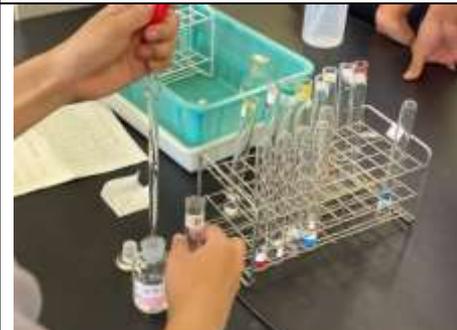
◆化学基礎（1年生）◆

今回は、液体間、液体と固体間で溶けるかどうかを極性の有無から考察する実験でした。見学したクラスでは、器具の扱い方や実験の進め方、処理の仕方などの説明に、真剣に聞く生徒の姿が印象的でした。

溶媒として、水、ヘキサン、エタノール。試料として、ヘキサン、エタノール、ラー油、グラニュー糖、ヨウ素、過マンガン酸カリウムを使用しました。

生徒たちは、同じ試料でも、入れる溶媒によって様子が変わることや、きれいに発色する様子を班員の中で共有していました。

今回の実験について、次回の授業までに各自で考察をしていくという宿題が出されました。

		
溶媒に試料を加えます。	きれいに分離しています。	ライトを当てて様子を見ます。
		
溶媒に試料を加えます。	結果です。	実験終了後、器具を洗います。

◆実験の準備◆



実は、生徒の皆さんが、スムーズに実験をすることができるように、実習支援専門員の先生が、事前に準備をしてくれています。生徒の皆さんは、見えないところで様々な人の支えや準備をしてくれていることで日々の授業ができていることを忘れずに、周りの人への感謝の気持ちをもって、勉学に励んでください。左の写真は、各班に分けられた溶媒や試料。右の写真は、エタノールを班ごとに仕分けている様子です。